



議員 清 儀 与

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

◇環境整備について

問 字津花波352番地が大雨の都度、排水が悪く冠水し作物に甚大な被害を及ぼしているとのことであり、改善は可能か。

建設部長 現場を確認したところ、対策として津花波352番地向かいに沈砂池があるが、現

在沈砂池は雑草が繁茂し、道路を横断しているヒューム管内の状況が確認できない状況である。ヒューム管内に土砂が堆積している可能性が高く、まず沈砂池の雑草除去を行った後、横断ヒューム管内の泥堆積の除去が必要だと考えている。

◇小学校のグラウンドに外灯を

問 小学校のグラウンドは夕方からサッカー、野球で使用している訳であるが、午後6時にもなると真つ暗であり、防犯、子供たちの安全の面からも子供たちが帰宅するまで灯(外灯)が必要では。

教育部長 暗くて危険性や不

安を感じるような場所には防犯、安全の面から灯りは必要だと感じている。現在、小学校敷地内の屋外照明については、水銀灯や建物外壁に設置された照明器具を、明るさセンサーやタイマーで制御し、部活動を終え保護者が児童を迎えに来る時間を考慮してタイマー式は午後7時半ごろまで点灯させ、防犯灯として必要な照明は朝まで点灯するよう対応を行い、児童生徒の安全確保に努めている。

◇民生委員の充足率について

問 住民の立場で相談に応じ、地域の見回りや福祉行政とのパイプ役などを担う民生委員・児童委員は、11月いっぱい改選

だが、補充・定数は大丈夫か。
福祉部長 民生委員・児童委員については令和元年11月30日に3年間の任期が終了し、12月1日に一斉改選が行われ厚生労働大臣より委嘱されたところである。本町は66名の定数に対し44名の方が委嘱されており66・7%である。欠員については、引き続き自治会等と協力しながら定数確保に努めていきたい。

- その他の質問項目
○墓地の問題について
○行政について
○火葬場建設について

◇次年度の予算編成は

問 町の次年度の予算編成作業の進捗状況は。議員への説明会の予定は。

総務部長 11月末現在の乖離額は6億5,443万9千円。現在、全事業費5%カット等、さらなる削減案を提示し調整中。議会費も削減案を提示し協力をお願いしている。最終的な案の説明会は検討したい。



議員 盛 昌 納 喜

◇国保赤字削減・解消対策

問 町の国保赤字削減・解消対策は、住民説明会もされたが、十分理解されたと考えるか。将来懸念することは。県への一元化に伴い保険料の統一に向けての見通しは。

福祉部長 参加者アンケートではおおむね理解が深まったとの回答が多くあり。今後の医療費の動向等が保険料への影響がどうなるかが懸念するところ。保険料統一に向け鋭意努めていく。

◇幼児教育・保育の無償化

問 10月から始まった幼児教育・保育の無償化の町の現状は。

福祉部長 現在策定中の第二期西原町子ども・子育て支援事業計画において、令和2年度以降の計画を検討。保育士確保に向けて一層の取り組みが必要と考える。

◇待機児童ゼロ対策の町の現状

問 県は本年度末とした「待機児童ゼロ」の目標達成を断念し、2年後の2021年度末に先送りする方針だが、町の現状は。

◇首里城再建に向けて
10月31日の早朝、首里城が炎上し崩壊した。琉球王国時代、王府の直轄地の三平等の一つであり、尚田王生誕600年の諸事業、王即位550年の事業計画等歴史的観点からも町は率先して復興への何らかの役割を果たすべきでは。
教育部長 庁舎の会計、町立図書館窓口に募金箱を設置。首里城とのかかわりも深いことから検討する。



琉球王国時代の三平等 (みひら)



議員 勤 松 中

◇西原町要綱違反の固定資産税か

問 去る10月に宮崎政久衆議院議員と共に国土交通省を訪ね、土地区画事業の基本構想や国道329号バイパスに関連した土地用途の質疑など有意義な時間を共有した。その中で地権者が不利益にならないための条項・

法律について助言を受けた。土地区画整理事業法第101条は使用収益のない土地の損失を補償するための法律。これまで何度も議会でも申し上げたが南風原・八重瀬・南城・糸満・浦添市では使用収益のない土地についての固定資産税を10%減免している。西原町の現状の要綱では町民への不利益が生じる為、要綱の変更を強く要望する。

総務部長 土地の固定資産税については地方税法の市町村の判断で固定資産税を減免することができるところに基づき要綱を定めた。

問 仮換地中で使用収益のない土地は減歩率同様の30%を無税とし、残り70%は使用収益が

あるとの考え方が。
都市整備課主幹 仮換地制度で全区域基本的には使用停止状態。

問 使用収益のない、減免された地権者は何人か。
都市整備課主幹 189人全員減免され現状工事をしていない箇所も減免中。

問 現況主義では、使用収益のない土地を減免するはずでは。
都市整備課主幹 平成20年から仮換地指定通知を発送、それにより現状は減免されている。

◇マイス事業へ尽力する町議員団

問 マイス事業の大きな成果として(仮)西原バイパスの延伸が決定。大城議長をはじめ大城純孝・屋比久満・宮里洋史議員等の国土交通省への直接要請活動も実現の後押しと認識できるが。

町長 町議会一丸となった尽力に感謝したい。

- その他の質問項目
○マイス推進の現状と課題
○待機児童と学童保育の課題
○琉球大学附属病院移転跡地利用に療育施設等の整備検討を要望

この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認編集をしたものです。各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。